

星城懇話会

第33号

2020.2 発行

発行：星城懇話会事務局〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002/FAX 052-689-6003

CONTENTS

>>教育講演会

>>会員交流会

>>会員紹介

>>星城大学硬式野球部
グラウンド安全祈願祭

教育講演会開催



【 菊地弁護士のお人柄で和やかな雰囲気になりました 】

11月4日（月・休）、ミッドランドホールにおいて、「次世代を育てる」と題し、弁護士であり、「行列のできる法律相談所」など多くのテレビ番組に出演され、ご活躍中の菊地幸夫氏をお招きし、教育講演会を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、早い時間から前の方の席を求めてお越しになる方もみえ、開始時間前には会場が人と期待でいっぱいとなり、熱気が溢れていました。



【 石田本部長、浦野会長、菊地弁護士、石田理事長 】

最初に浦野廣高会長より「次世代を育てるという中で、今日の講演から新しい方向性が少しでも見出せれば」とのお話があり、続いて石田正城名誉会長（名古屋石田学園理事長）から「教育には美育が必要と考え、学園では文化に特化した教育を、また懇話会では今回のような文化講演を開催しております」との挨拶の後、講演会が始まりました。

地元小学生バレーボールチームの監督や、大学の教壇に立たれたご経験などから、ご自身で見出された指導・教育法について分かりやすいお話と、親しみやすいお人柄に会場の皆さまが惹きつけられました。ご多忙中、多数の方にご参加をいただき、誠にありがとうございました。



教

育

講

演

会

「次世代を育てる」

— 次の世代を担っていく人間に育ってもらうには、
答えを与えるだけではない。結論に至るまでの
プロセスが大切。考えることが大事 —



自分で考えて一歩一歩あゆみを進めていかなくてはならない時代、菊地弁護士は「考える力が必要」と講演中、何度も自分で考えることの重要性を口にされました。「大学の教壇に立つと、学生がただ一つ欲しいのは正しい正解、答えなんだとわかる」。だが、「大切なのはプロセス。どういう考えに基づいて結論に至るのかの過程が大事」と語られました。社会に出れば色々な問題にぶち当たる。問題をどうやって乗り越えるか、克服したらいいか、自分で考える力を養ってほしいと訴えられました。そして、「社会で求められているのは、コミュニケーション能力の高い」人であり、子どもたちのたわいもないことでも「自分の気持ち、考えを自分の言葉で相手にうまく伝える」力を大切に育ててあげないといけないと語られました。教育には時に厳しい言葉も必要だが、自分で考えること、話すこと、相手の話を聞くこと、普通であたりまえのことが、子どもに自信を与え、子どもの成長を図るのに重要であることを強く感じました。

弁護士をはじめ、様々なお立場で子ども、若者と関わり接するご経験から、色々な場面でのエピソードを挙げ、ユーモアを交えながらとても分かりやすくお話いただきました。

講演会は大変好評いただき、出席者の皆さまからは、親しみやすかった、分かりやすかった、自分で考える力の大切さ、コミュニケーションの重要性を改めて感じる事ができたとの感想を多数いただきました。

会

員

交

流

会



沖縄民謡ライブ

「会員交流会」が12月3日(火)、名古屋ガーデンパレスにおいて開催され、131名と多くの会員の皆さまにお集まりいただきました。

はじめに、浦野廣高会長より「文化は大事、継承していくことに意義がある。懇話会も文化を大切にしており、今後ともご支援を賜りたい」と、続いて石田名誉会長から「本日は異業種交流の場でもあり、石田学園を通して懇親、交流を深めていただきたい」との挨拶がありました。

今年のイベント「沖縄民謡ライブ」では、沖縄県出身の与那覇政克さんとMamiさんが登場し、唄、三線、島太鼓によるライブが始まると、心地よい沖縄の音楽が会場を包みました。



♪ 沖縄民謡に合わせて盛り上がりました♪



教

育

講

演

会

「次世代を育てる」

— 次の世代を担っていく人間に育ってもらうには、
答えを与えるだけではない。結論に至るまでの
プロセスが大切。考えることが大事 —



自分で考えて一歩一歩あゆみを進めていかなくてはならない時代、菊地弁護士は「考える力が必要」と講演中、何度も自分で考えることの重要性を口にされました。「大学の教壇に立つと、学生がただ一つ欲しいのは正しい正解、答えなんだとわかる」。だが、「大切なのはプロセス。どういう考えに基づいて結論に至るのかの過程が大事」と語られました。社会に出れば色々な問題にぶち当たる。問題をどうやって乗り越えるか、克服したらいいか、自分で考える力を養ってほしいと訴えられました。そして、「社会で求められているのは、コミュニケーション能力の高い」人であり、子どもたちのたわいもないことでも「自分の気持ち、考えを自分の言葉で相手にうまく伝える」力を大切に育ててあげないといけないと語られました。教育には時に厳しい言葉も必要だが、自分で考えること、話すこと、相手の話を聞くこと、普通であたりまえのことが、子どもに自信を与え、子どもの成長を図るのに重要であることを強く感じました。

弁護士をはじめ、様々なお立場で子ども、若者と関わり接するご経験から、色々な場面でのエピソードを挙げ、ユーモアを交えながらとても分かりやすくお話いただきました。

講演会は大変好評いただき、出席者の皆さまからは、親しみやすかった、分かりやすかった、自分で考える力の大切さ、コミュニケーションの重要性を改めて感じる事ができたとの感想を多数いただきました。

会

員

交

流

会



沖縄民謡ライブ

「会員交流会」が12月3日(火)、名古屋ガーデンパレスにおいて開催され、131名と多くの会員の皆さまにお集まりいただきました。

はじめに、浦野廣高会長より「文化は大事、継承していくことに意義がある。懇話会も文化を大切にしており、今後ともご支援を賜りたい」と、続いて石田名誉会長から「本日は異業種交流の場でもあり、石田学園を通して懇親、交流を深めていただきたい」との挨拶がありました。

今年のイベント「沖縄民謡ライブ」では、沖縄県出身の与那覇政克さんとMamiさんが登場し、唄、三線、島太鼓によるライブが始まると、心地よい沖縄の音楽が会場を包みました。



♪ 沖縄民謡に合わせて盛り上がりました♪

会員紹介

会員企業様とのさらなる交流を深めていただきたく、ご紹介のページを設けています。
今回は、紀伊國屋書店様をご紹介させていただきます。

BOOKS KINKUNIYA 紀伊國屋書店

私どもは、1927年の創業以来、地域の文化拠点として書店を営んでまいりました。本の販売を通じた文化の継承・発展の一翼を担うことを使命として、その活動は店舗の全国展開、各地の大学などへの営業に発展しております。現在、国内は68店舗、28営業所、81ブックセンターを、海外は38店舗、6営業所、2事務所を展開しております。名古屋石田学園様にも長年ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。



【 mozo ワンダーシティ店入口 】



【 紀伊國屋書店スタッフおすすめ「キノバス!」の店内展示 】

2019年10月、名古屋市西区の mozo ワンダーシティ 4階に新店舗を出店しました。mozo ワンダーシティの来館者数は年間1,900万人ほど、東京ディズニーランドの来場者数を上回るお客様が来館される国内トップクラスの超大型商業施設です。mozo ワンダーシティという大きな公園の中の「止まり木」であること、をコンセプトに、お客様へ本からはじまる豊かな世界を提案して、ともに新たな物語の扉を開いてまいります。

多様な地域の文化的発展のために、紀伊國屋書店は今後も走り続けます。

「島唄」「涙そうそう」などの楽曲に聴き入り、沖縄民謡の曲では会員皆さまの手拍子も加わり、ライブは一気に盛り上がりました。後半には沖縄舞踊のカチャーシーも飛び出し、会場が一体となりました。

ライブの盛り上がり冷めぬ中、交流会は石黒大山理事の乾杯でスタートしました。席を歩き来しての名刺交換や歓談など盛んに異業種交流が行われました。

会員相互交流事業



【 盛んな名刺交換 】



【 企業PR 】

恒例の企業PRタイムでは、「株式会社近畿日本ツーリスト中部」様のPRから始まり、続いて新規ご入会の「東3冷凍機株式会社」様、「株式会社 Dish」様が登壇されると、飛び入り参加の企業様も次々と登壇され、熱心なPRが繰り広げられました。

最後は皆さまで、西川右近理事による「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。お忙しい中、多数のご参加をいただき、大変盛況な会となりました。

会員紹介

会員企業様とのさらなる交流を深めていただきたく、ご紹介のページを設けています。
今回は、紀伊國屋書店様をご紹介させていただきます。

BOOKS KINKUNIYA 紀伊國屋書店

私どもは、1927年の創業以来、地域の文化拠点として書店を営んでまいりました。本の販売を通じた文化の継承・発展の一翼を担うことを使命として、その活動は店舗の全国展開、各地の大学などへの営業に発展しております。現在、国内は68店舗、28営業所、81ブックセンターを、海外は38店舗、6営業所、2事務所を展開しております。名古屋石田学園様にも長年ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。



【 mozo ワンダーシティ店入口 】



【 紀伊國屋書店スタッフおすすめ「キノバス!」の店内展示 】

2019年10月、名古屋市西区の mozo ワンダーシティ 4階に新店舗を出店しました。mozo ワンダーシティの来館者数は年間1,900万人ほど、東京ディズニーランドの来場者数を上回るお客様が来館される国内トップクラスの超大型商業施設です。mozo ワンダーシティという大きな公園の中の「止まり木」であること、をコンセプトに、お客様へ本からはじまる豊かな世界を提案して、ともに新たな物語の扉を開いてまいります。

多様な地域の文化的発展のために、紀伊國屋書店は今後も走り続けます。

「島唄」「涙そうそう」などの楽曲に聴き入り、沖縄民謡の曲では会員皆さまの手拍子も加わり、ライブは一気に盛り上がりました。後半には沖縄舞踊のカチャーシーも飛び出し、会場が一体となりました。

ライブの盛り上がり冷めぬ中、交流会は石黒大山理事の乾杯でスタートしました。席を行き来しての名刺交換や歓談など盛んに異業種交流が行われました。

会員相互交流事業



【 盛んな名刺交換 】



【 企業PR 】

恒例の企業PRタイムでは、「株式会社近畿日本ツーリスト中部」様のPRから始まり、続いて新規ご入会の「東3冷凍機株式会社」様、「株式会社 Dish」様が登壇されると、飛び入り参加の企業様も次々と登壇され、熱心なPRが繰り広げられました。

最後は皆さまで、西川右近理事による「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。お忙しい中、多数のご参加をいただき、大変盛況な会となりました。

星城大学硬式野球部

グラウンド安全祈願祭

1月22日(水)、東海市加木屋町に今夏完成予定の、星城大学硬式野球部 野球グラウンド建設「安全祈願祭」が執り行われました。

当日は天候に恵まれ、暖かな陽気の中、石田理事長、赤岡学長、横井野球部監督をはじめ約20名の関係者が参列しました。

広大な土地上に設置されたテントでは、星城高校卒業生の神主(岡田

【グラウンド完成イメージ】

民生さん)とともに土地の神様に挨拶をし、グラウンド建設の無事と野球部の増々の活躍が祈願されました。施主である石田理事長からは、「創立者が大切だとした心の教育とは、スポーツは単に体を鍛えるだけでなく、心を充実させていくということ。野球部においても今まで大変な思いを忘れず、また常に感謝の気持ちを持って練習、試合に励んでほしい」、また、「設計、施工者の皆さまには、心を込めた設計と建築をしていただきたい」との挨拶がありました。



【玉串を奉げる野球部 栗田キャプテン】

野球部専用グラウンドには、設備として屋内練習場、クラブハウス、夜間照明灯などが備えられます。長年の願望であった野球グラウンドの完成により、1部昇格を目指す星城大学硬式野球部の益々の活躍に期待が高まります!!

【儀式の様子】



新規会員募集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とし、平成18年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

昨今の厳しい環境下におきましても、地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆様、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指して、少しでも皆様方に寄与できるように企画運営しております。ぜひ、ご興味がある方々にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

【星城懇話会事務局】

TEL : (052) 689-6002
FAX : (052) 689-6003

